

第2回 理工系 女性研究者シンポジウム ——西から吹く風——

活躍する研究者のロールモデルを紹介するとともに、
大学生の将来像を考えます。

● とき・ところ

平成 26 年

11月29日(土)

13:00-17:30

九州工業大学戸畑キャンパス
百周年中村記念館 多目的ホール

[福岡県北九州市戸畑区仙水町 1-1]

● プログラム

研究者のロールモデル紹介

藤原 直子 (産業技術総合研究所 主任研究員)

高瀬 聡子 (九州工業大学 大学院工学研究院 助教)

学生セッション

漆原 奈帆 (愛媛大学工学部 応用化学科 4年)

森 愛美 (九州工業大学 大学院生命体工学研究科 1年)

須藤 朋美 (九州工業大学 大学院工学府 2年)

Susana Neves

(九州工業大学 大学院生命体工学研究科 研究生 ポルト大学修士修了生)

スイーツセミナー

企業および国際的な視点からの提言

小浦 節子 (日新製鋼株式会社 人事部 主任部員)

馬 廷麗 (九州工業大学 大学院生命体工学研究科 教授)

懇親会 [17:30~19:30 百周年中村記念館内 カフェ ド ルージュブラン]

● 参加費 シンポジウム無料、懇親会会費制 [一般 3,000 円、学生 2,000 円]

● お申し込み 氏名、所属、懇親会参加の有無をご記入のうえ、11/21 (金) までに、
E-mail でお申し込みください。申込み先 : wcubic@che.kyutech.ac.jp

● お問い合わせ 九州工業大学 高瀬 聡子 TEL:093-884-3345

● 主催 女性研究者ネットワーク W³ (ダブルキュービック)、九州工業大学 (理系女子学生支援プロジェクト)

理系を、
仕事にする。

参加無料
男性歓迎

● 13:00 ~ 13:05 **開会挨拶** W³ 代表 吉本 信子
[山口大学 大学院理工学研究科 准教授]



● 13:05 ~ 14:05 **研究者のロールモデル紹介**

「公的研究機関の研究者として」

藤原 直子 [産業技術総合研究所 主任研究員 博士 (工学)] 趣味: 家庭菜園

大学院修士課程を修了後、通産省工業技術院 大阪工業技術研究所 (2001年 産業技術総合研究所に再編) に試験採用され、20年が経とうとしています。この間、固体高分子電解質を用いた水電解や燃料電池、金属空気電池の空気極などの研究に従事してきました。また、結婚、海外留学、出産、学位取得、子育て (継続中) を順次経験しながら、周りの方々の温かいご支援のおかげで何とか今まで研究を続けることができました。私の研究活動とライフイベントを巡る経験をお話する中で、次世代を担う若手の皆さんが輝かしい未来を切り開いて行くために自信を持って頂ければ幸いです。

「子供も原子も可能性は無限大」

高瀬 聡子 [九州工業大学 大学院工学研究院 助教 博士 (工学)] 趣味: 華道

仮死状態で生まれ長期入院していた長男の身長は私を超え、集団行動ができなかった次男は卓球クラブの部長をしています。このような子供の成長を目の当たりにして無限の可能性を感じると同時に、周囲の方々の暖かい手助けがあつてのことだと感謝しています。また、原子はそれぞれに固有の性質を持っていることは知られていますが、周囲の環境 (原子の種類やそれぞれの配置) によって、まだ未知の性質を示す可能性を秘めており、新しい役に立つ材料の発見は、まだまだあると考えています。講演では、子供と原子の可能性を信じる母親の研究生活をご紹介しますと思います。

● 14:15 ~ 15:15 **学生セッション**

漆原 奈帆 [愛媛大学工学部 応用化学科 4年]

森 愛美 [九州工業大学 大学院生命体工学研究科 1年]

須藤 朋美 [九州工業大学 大学院工学府 2年]

Susana Neves [九州工業大学 大学院生命体工学研究科 研究生 ポルト大学修士修了生]

● 15:15 ~ 16:00 **スイーツセミナー**

甘いものと飲み物をお供に、交流タイム。参加者のご意見や疑問質問を受け付けます。

● 16:00 ~ 17:00 **企業および国際的な視点からの提言**

「研究から人事へ、そして思うこと」

小浦 節子 [日新製鋼株式会社 人事部 主任部員 博士 (工学)] 趣味: 茶道、ゴルフ

日新製鋼に入社以来、二十数年研究に携わってきましたが、今年の春に人事の所属となりました。研究においては、新材料研究所⇒1年間の米国留学⇒技術研究所⇒研究企画と、それぞれの所属でいろいろな経験を経るとともに、その間に結婚・出産もあり、仕事と家庭の両立についても悩んだ時期もありました。現在は人事の所属で、採用・教育を担当しております。入社から現在までの経験を踏まえ、何をすることも人が大事であることを痛感しております。当日の講演では、経験談に加えて、望まれる人物像についても個人的意見を述べたいと思います。少しでも皆様の参考になれば幸いです。

「世界で活躍できる理系女性研究者を目指して」

馬 廷麗 [九州工業大学 大学院生命体工学研究科 教授 博士 (理学)] 趣味: 旅行、スポーツ

20年前、中国の大学の講師を辞め、日本へ留学を決意。子供を抱えながら言葉の壁を乗り越え、九州大学で修士及び博士学位を取得しました。その後、産総研、九州大学及び大連理工大学ナノ機能材料の開発及び光触媒、有機デバイスの研究に励んできました。また、この間アメリカの Caltech、イギリスの Imperial College での在外研究及びベンチャー起業も体験。仕事と家庭の両立、異文化交流など様々な困難を乗り越えました。講演では、国際的な観点から私の研究活動を紹介しますが、それが若手女性研究者に世界での活躍を目指す自信へ繋がることがあれば幸いです。

● 17:00 ~ 17:10 **開会挨拶** 九州工業大学 学長 松永 守央

● 17:30 ~ 19:30 **懇親会** 百周年中村記念館内 カフェ ドルージュブラン [会費: 一般 3,000円、学生 2,000円]

◆会場のご案内◆

九州工業大学
戸畑キャンパス

百周年中村記念館
2階 多目的ホール

